

平成 24 年度第 4 回(第 35 回)CPD WG 委員会議事録

日時：平成 25 年 3 月 11 日（月） 9:30～11:30

場所：日本工学会事務所（新宿区神楽坂 4-2-2 東京理科大学森戸記念館 3 階）

出席者：（順不同、敬称略）：

主 査 橋谷 元由（副会長／化学工学会）（文責）

委 員 児玉 公信（情報処理学会）

委 員 木村 軍司（電気学会）

委 員 鈴木 忠道（電子情報通信学会）

委 員 尾崎 章（日本原子力学会）

委 員 日比谷啓介（土木学会）

委 員 浅野 健治（化学工学会）

配布資料：「クロールできない学協会 CPD プログラム情報の対応策」

議 事：

1. CPD ポータルサイトの利用促進

児玉委員会から MRAIMUGEN 社からの案（添付資料）に基づき、調査の結果・その後の状況について報告された。継続調査については 3 月 15 日までに報告される予定。議論の結果、次のことが決まった。

- (1) 現在、クロールできない学協会については、リンクボタンを用意し、学協会の CPD プログラム掲載のページにアクセスできるようにする。この際、建設 CPD 協議会のようにまとめて協議会有る場合には、協議会のページにアクセスできるようにする。
- (2) MRAIMUGEN 社に、学協会から直接問い合わせができるように窓口を設けてもらうこととする。むやみに問い合わせがないように、CPD WG でルール作りをする。
- (3) 利用マニュアルの改訂、リンクボタンの説明、word あるいは PDF から HTML に変換する方法を記載する。また、FAQ も載せることになっていたが、MRAIMUGEN 社の窓口への相談の中から FAQ の Q をまとめることとし、半年後に FAQ を掲載することとした。
- (4) これらの費用については、2012 年度及び 2013 年度の保守費用（148,645 円/年）を当てることとする。従って、2013 年度に保守費用が発生した場合には、協議することとする。

2. 2013年度活動計画

(1) ポータルサイトの利用促進

1. 項で議論したように、利用促進策が動き出している。さらに、利用が進むような方策を検討し、実施していく。

(2) 学協会における CPD のあり方の検討

CPD に対する各学協会の考え方がまちまちであり、全体として活動が進んでいる学協会とこれから進めようとしている学協会がある。

なぜ、学協会が CPD を推進する必要があるのか、根本に立ち返って議論し、方向を示していくこととしたい。

3. 平成 25 年シンポジウム企画

主査から、資格制度を実施している学協会（土木学会、計測自動制御学会、化学工学学会、冷凍空調学会など）の現状を話してもらってはどうかと提案が有り、候補として承認された。今後、具体的に詰めていくこととする。

講演をどうするかについてはまだ未定である。ECE WG の意見も聞きながらまとめていくこととする。

4. その他

分野別の CPD 協議会の設立状況の最新情報について、事務局で把握して次回の WG で配布することとした。

以 上